

第5章 成長をリードしていく仕組み —総合特区*制度③—

【国際戦略総合特区*：関西イノベーション国際戦略総合特区 概要②】

■ 重点的に取り組む6つのターゲットでイノベーションを創出

～未来社会の市場を見据え、強みを有するターゲットに当面資源を集中！～

- ① 医薬品
- ② 医療機器
- ③ 先端医療技術（再生医療*等）
- ④ 先制医療*
- ⑤ バッテリー
- ⑥ スマートコミュニティ*

⇒ 内外の生活革新をもたらすことを期待

■ 2025年に向けた目標

○ 関西からの医薬品・医療機器の輸出を増加させ、
世界市場でのシェア*を倍増！

(世界の輸入医薬品・医療機器市場：約46.4兆円 2025年現在予測)

○ 多様な用途、市場拡大により
関西の電池生産額を大幅増！

(リチウムイオン・太陽・燃料電池の世界市場 約33兆円 2025年現在予測)

2010年 ⇒2025年	・医薬品	約1,890億円 ⇒ 7,800億円	} 輸出額
	・医療機器	約 660億円 ⇒ 2,800億円	
2010年 ⇒2025年	・リチウムイオン電池*	2,300億円 ⇒ 3兆8,500億円	} 生産額
	・太陽電池	2,500億円 ⇒ 1兆1,300億円	

■ 具体的な取組と仕組みづくり 32事業、127項目の規制緩和・制度創設を提案

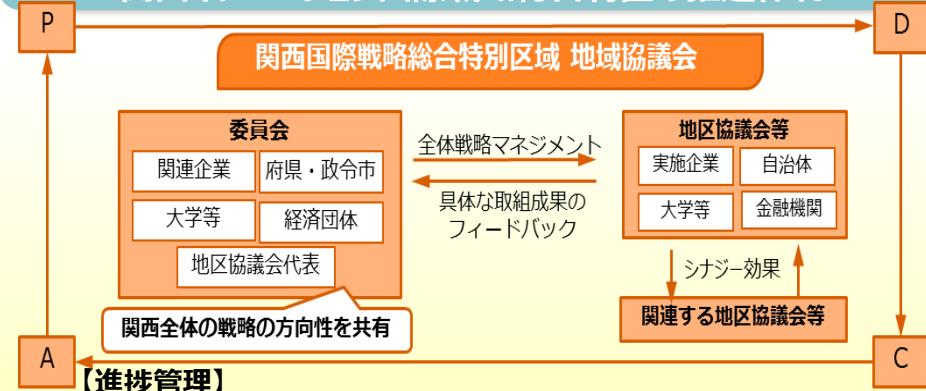
【主な事業】

- ◆ PMDA-WEST機能の整備 PMDA：(独) 医薬品医療機器総合機構
- ◆ 治験*センターの創設
- ◆ バッテリー戦略研究センター機能の整備
- ◆ 京速コンピュータ「京」とSPring-8を活用した革新的創薬*と次世代省エネ材料の開発
- ◆ スマートコミュニティオープンイノベーション*センター機能の整備
- ◆ 日本初の抗体*医薬のさらなる応用
- ◆ 先制医療の実現に向けたコホート研究*・バイオマーカー研究*の推進
- ◆ 世界最高水準のカーボン*構築（関空）、国際コンテナ戦略港湾等

【主な規制緩和等】

- 一定の条件をクリアしたものについて、臨床試験*で得られるデータを治験段階で活用することを認める制度の構築（特例）
- 治験・臨床研究*に係る病床規制の特例
- 医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化
- 蓄電池の安全性・性能の評価基準の確立
- 電気事業法の規制緩和（特定供給に係る規制緩和で、再生可能エネルギー*導入による実証実施）

関西イノベーション国際戦略総合特区の推進体制



【進捗管理】

< 関西国際戦略総合特区地域協議会 >
全体の戦略の方向を示し、トータルでマネジメント

< 地区協議会等 >
関連する地区協議会とのシナジー効果*を生み出しながら、主要企業等と事業を推進

地域の責任ある関与

・補助金、税の軽減、支援体制構築等による取組